

平成29年第1回定例会（2月議会）  
建設部 提出資料（2月13日）

建設委員会

【補正予算・議案関係】

○ 建設部	平成28年度2月補正予算案の概要について	.....	1
○ 河川砂防課	成瀬ダムの第2回基本計画変更について	.....	2
○ 港湾空港課	空港維持管理費（除雪費）について	.....	4
○ 建築住宅課	あきた安全安心住まい推進事業（住宅リフォーム推進）に係る債務負担行為の設定について	.....	5



# 平成28年度2月補正予算案の概要について

平成29年2月13日  
建設部

## 1 一般会計

(1) 補正予算  $\Delta 5,817,726$  千円

- ①事業費の決算見込み等による補正  $\Delta 5,795,293$  千円
- ②その他（給与費）  $\Delta 22,433$  千円

(2) 繰越明許費  $19,903,652$  千円

地方道路交付金事業、地方道路等整備事業、県単河川改良事業 等

- ①追加分  $11,175,873$  千円
- ②変更分  $8,727,779$  千円

(3) 債務負担行為  $1,201,279$  千円

事業名	事業費	事業内容
あきた安全安心住まい推進事業 (住宅リフォーム推進)	785,770	住宅の増改築・リフォームへの支援に要する経費
空港整備事業	200,000	秋田空港の誘導路舗装に要する経費
災害関連事業	100,000	災害関連事業の早期復旧に要する経費
過年発生土木災害復旧事業	100,000	過年発生災害の早期復旧に要する経費
道路台帳管理事業	12,539	道路台帳の管理に要する経費
技術アドバイザー業務委託	2,970	技術アドバイザーからの技術的アドバイスに要する経費

## 2 特別会計

(1) 補正予算  $\Delta 666,324$  千円

事業名	事業費	事業内容
下水道事業	$\Delta 629,443$	決算見込みによる
港湾整備事業	$\Delta 36,881$	決算見込みによる

(2) 繰越明許費  $5,601,410$  千円

(能代港灰捨場管理事業、流域下水道事業 等)

(3) 債務負担行為  $79,098$  千円

事業名	事業費	事業内容
流域下水道維持管理費	19,033	下水道施設の維持管理に要する経費
港湾荷役機械保守点検業務委託	60,065	港湾施設の維持管理に要する経費

# 成瀬ダムの第2回基本計画変更について

平成29年2月13日  
河川砂防課

## 1 概要

- ・建設事業中の成瀬ダムの基本計画変更について、平成29年1月10日付けで国土交通大臣から意見を求められた。
- ・知事の意見（案）について、特定多目的ダム法第4条第4項の規定に基づき、議会の議決に付すものである。

## 2 ダム建設事業概要

- ・建設地 雄物川水系成瀬川（雄勝郡東成瀬村椿川 地先）
- ・目的 洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい、水道、発電
- ・総事業費 約1,530億円
- ・工期 昭和58年度～平成36年度（予定）

## 3 経緯

昭和58年度 実施計画調査着手

平成9年度 建設事業着手

〃 13年度 成瀬ダムの建設に関する基本計画 告示

〃 24年度 ダム検証の結果、対応方針「継続」決定

〃 25年度 第1回基本計画変更（洪水調節計画、水道計画、負担率、工期等）

## 4 第2回基本計画変更内容

### (1) 規模及び形式の変更

- ・施工の合理化によりコスト縮減が可能な台形CSGダム型式の採用が可能との結論を得たことから、ダム型式を変更

	現 行	変 更 後
規模（堤高）	113.5m	114.5m
型 式	ロックフィルダム	台形CSGダム

### (2) 発電用取水量及び最大出力の変更

- ・ダム型式変更に合わせて秋田県の発電計画変更に基づき、発電用取水量及び最大出力を変更

	現 行	変 更 後
取 水 量	毎秒4.8m <sup>3</sup>	毎秒8.0m <sup>3</sup>
最 大 出 力	3,900キロワット	5,800キロワット

(3) 建設に要する費用の負担率の変更

- ・発電計画の変更に合わせて、建設に要する費用の負担率を変更

	現 行	変 更 後
河 川 (国、県)	99.1%	99.0%
水 道 (関係市町村)	0.6%	0.6%
発 電 (県(公営企業))	0.3%	0.4%

※ 総事業費及び工期については変更なし

5 知事の意見(案)

- ・特定多目的ダム法の規定による成瀬ダムの建設に関する基本計画の変更については、同意する。

6 今後の手続き

- 平成29年1月 国土交通大臣より秋田県知事あて意見照会(受理済み)
- 〃 2月 知事の意見(案)について議会の議決
  - 〃 3月 議決後、秋田県知事より国土交通大臣へ意見回答(予定)
  - 〃 6月 国土交通省で第2回基本計画変更告示(予定)

# 空港維持管理費（除雪費）について

平成29年2月13日  
港湾空港課

航空機の安全で円滑な運航を確保するために実施している空港除雪業務について、これまでの執行状況と今後見込まれる所要額を考慮し、予算を増額補正する。

## 1 降雪状況

- (1) 昨年末までは暖かい日が続き、累積降雪量は平年より少なかったが、年明け以降は冬型の気圧配置の影響で降雪が続いた。一方で、降雪の少ない日が多くみられたこともあり、全体としては、平年並みの降雪量となっている。
- (2) 仙台気象管区気象台では、今後は、ほぼ平年並みの降雪量と予報している。

## 2 除雪費の見込み

- (1) 平成28年度当初予算では、空港維持管理費約8億9千万円のうち、除雪費として約1億7千万円を予定していた。
- (2) 今後の降雪量を平年並みとすると、今年度の除雪費は約3億2千万円と推計され、約1億5千万円の不足が見込まれる。

## 3 補正額について

(1) 空港維持管理費（既定予算）	892,667千円
(2) 空港維持管理費見込み額	1,046,667千円
(3) 補正額 (2) - (1)	154,000千円



秋田空港を除雪する「雪戦隊なまはげ」

# あきた安全安心住まい推進事業（住宅リフォーム推進）に係る 債務負担行為の設定について

平成29年2月13日  
建築住宅課

## 1 住宅リフォーム推進事業の継続

既存住宅の居住環境の向上、子育て世帯への住宅支援及び県内経済の下支えのため、住宅リフォーム推進事業を継続するとともに、利用状況や今後の需要見込み等を踏まえ制度の見直しを行う。

また、補助金の申請手続きに切れ目なく対応するため、債務負担行為を設定するものである。

### ○見直しのポイント

- (1) 一般タイプの補助限度額を引き下げ（15万円 → 12万円）
- (2) 子育て世帯タイプの補助戸数を拡大（持家 180戸 → 200戸  
空き家 50戸 → 70戸）

## 2 事業概要

タイプ	一般	子育て世帯	
	持家	持家	空き家購入後
対象者	県民	18歳以下の子ども3人以上 と同居している親子世帯	18歳以下の子ども1人以上 と同居している親子世帯
補助対象	増築・改築・修繕・模様替 など 〔・県内に本店を置く建設業者等が施工〕 ・工事費50万円以上		
補助額	補助対象額の10% (限度12万円)	補助対象額の20% (限度40万円)	補助対象額の30% (限度60万円)
事業費 (戸数)	684,000千円 (5,700戸)	63,200千円 (200戸)	38,570千円 (70戸)

- 3 平成29年度当初予算額 806,120千円  
〔・補助金計 785,770千円〕  
〔・臨時職員賃金ほか 20,350千円〕

- 4 債務負担行為設定額 785,770千円（補助金分）